

実践的な訓練で災害への備え

台風に伴う豪雨と暴風により、河川の氾濫、家屋の倒壊、同時多発火災等が発生したと想定して、小矢部市総合防災訓練が実施されました。地震や地滑り、集中豪雨や洪水など、大規模な自然災害が日本全国で頻繁に発生しています。いざというときには、日頃の備えと実践的での確な訓練が必ず生かされます。



(写真：小矢部河川公園での総合防災訓練 今回初めて水防工法訓練（土のう積み訓練）が実施されました）



概要	2	代表・一般質問	7～11
議長・副議長あいさつ	2	傍聴のお知らせ	11
審議経過・人事案件等	3	会務報告	12
議会報告会の開催	3	市外からの行政視察	13
審議議案・議員別賛否状況	4	12月議会日程等	13
決議	5	委員会報告	14
議員構成	6	編集後記	14

補正予算・条例改正など

14議案を議決しました

9月4日に9月臨時会を、9月10日から25日までの16日間を会期として9月定例会を開会しました。

9月定例会では、市長から平成26年度小矢部市一般会計補正予算、条例の制定改廃、固定資産評価審査委員会委員の選任同意についてなど13議案が、議員から議員提出議案（決議）1議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、平成25年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案については、新たに設置した決算特別委員会において12月まで継続審査とすることになりました。その他、請願と陳情を処理するとともに、健全化判断比率などの報告を受けたほか、議員派遣を可決しました。

◎ 補正予算の概要

議案第43号 平成26年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）
 補正額 4億1,887.9万円 累計予算額 143億9,859.1万円

《主な事業》

- ・総合情報システム改修委託費等 2,938.1万円
- ・財政調整基金積立金 2億5,000万円
- ・水痘・肺炎球菌予防接種委託費等 1,043.2万円
- ・とやまの園芸規模拡大事業費補助金 450万円
- ・クロスランドおやべ施設設備修繕工事費等 1,887.8万円

議案第44号 平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 70万円 累計予算額 1億8,744.8万円

《主な内容》 繰越金の確定に伴う一般会計繰出金の増額

議案第45号 平成26年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 7,779.4万円 累計予算額 33億2,509.4万円

《主な内容》 後期高齢者支援金と前期高齢者納付金の増額・繰越金の確定に伴う償還金と財政調整基金積立金の増額

議案第46号 平成26年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 106.2万円 累計予算額 7億9,756.2万円

《主な内容》 繰越金の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

議長 就任 あいさつ



議長（第49代）

石田

義弘



副議長（第52代）

吉田

康弘

このたび、議員の推挙によりまして、名誉ある小矢部市議会議長並びに副議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であり、心から感謝申し上げます。

私たちは、もとより浅学非才でございますが、粉骨碎身の決意で、市政の進展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意努力して参る所存であります。

人口減少、少子高齢化、インフラの老化をはじめ、現下の社会経済情勢は大変厳しい状況であります。また、本市においては、北陸初となるアウトレットモールの開業や北陸新幹線金沢開業が来年に迫り、これからの数年は、非常に重要な時期に当たると認識いたしております。

この上は、これら諸問題に立ち向かっていけるよう全身全霊を傾けて参る所存でございます。

どうか、市民の皆様方にはご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。



9月臨時会の 審議経過

4日 本会議

(会期1日間)

9月定例会の 審議経過

10日 本会議 (提案理由説明)

(会期16日間)

全員協議会

11日 議案調査日

12日 議案調査日

16日 議会運営委員会

本会議 (代表・一般質問)

17日 本会議 (一般質問)

18日 駅周辺整備特別委員会

民生文教常任委員会

19日 人口対策等特別委員会

産業建設常任委員会

22日 決算特別委員会

総務常任委員会

24日 委員長会議

25日 議会運営委員会

全員協議会

本会議 (質疑・討論・表決他)

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

決算特別委員会

平成25年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案を審査するため設置しました。

(委員11名)

駅周辺整備特別委員会

現在整備が進められているJR石動駅の周辺整備について議論を深めるため設置しました。

(委員8名)

人口対策等特別委員会

小矢部市の人口対策について議論を深めるため設置しました。

(委員7名)

人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

坂田 行弘 氏 (八和町)

◎人権擁護委員の候補者の推薦

澁谷 幸子 氏 (西中野)

◎選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員

湊谷 直美 氏 (岩武)

山森 隆志 氏 (西町)

吉田 重雄 氏 (浅地)

福島 大喜男 氏 (芹川)

補充員

宮田 一雄 氏 (法楽寺)

宮田 安子 氏 (和沢)

津島 幸男 氏 (清沢)

柴田 優美子 氏 (松屋)

「議会報告会」を開催します

市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、議会報告会を開催します。市民の皆さんへ議会審議などをご報告いたしますので、ご参加をお待ちしております。

とき

11月29日(土) 午後7時から午後8時30分(終了予定)

ところ

クロスランドおやべ セレナホール (鷺島10番地)

問い合わせ 議会事務局 議事調査課 電話67-1760内線322

9月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野留美子	山室幸隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井 中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
補正予算	議案第43号	平成26年度小矢部市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第44号	平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	平成26年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	平成26年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
条例の制定改廃	議案第47号	小矢部市空き家等の適正管理、活用等に関する条例の制定 ・空き家等の発生の予防、適正な管理と活用の対策に総合的に取り組むため、条例を制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定 ・平成27年4月施行予定の子ども・子育て支援法等に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるため、条例を制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	小矢部市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・平成27年4月施行予定の子ども・子育て支援法等に基づき、家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定めるため、条例を制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第50号	小矢部市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・平成27年4月施行予定の子ども・子育て支援法等に基づき、放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準を定めるため、条例を制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	アートハウスおやべ条例の制定 ・市民の美術に関する知識や教養の向上を図り、文化の発展と賑わいの創出に資するため、アートハウスおやべの設置に関する条例を制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	小矢部ふるさと博物館条例の一部改正 ・大谷家住宅を改修し、博物館機能を移転することに伴い、施設の名称・位置等を変更するため、改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第53号	平成25年度小矢部市水道事業会計利益の処分について ・地方公営企業法第32条第2項の規定により、利益の処分を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議	議員提出議案第4号	新高岡駅への「かがやき」の停車に関する決議 (決議の内容は5ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第3号	小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について (人事案件の概要は3ページを参照ください)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願第3号	国民健康保険税の引き下げを求める請願 請願者 堀内昭世(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	
	請願第4号	政府による緊急の過剰米処理を求める請願 請願者 農民運動富山県連合会小矢部班 辻慶輝(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

議長は中立公平の立場から表決に加わりません

9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第6号	健全化判断比率の報告
	報告第7号	資金不足比率の報告

9月定例会で継続審査とされた決算認定議案

決算認定議案	認定第1号	平成25年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	平成25年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	平成25年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	平成25年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	平成25年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	平成25年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
	認定第7号	平成25年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第8号	平成25年度小矢部市水道事業会計決算

陳情の処理状況

陳情	陳情第1号	人工内耳機器に対する助成制度に関する陳情 陳情者 人工内耳友の会[ACITA(あした)]富山県支部長 山本良一	採択
----	-------	--	----

決 議 (議員提出)

平成26年9月25日、地方自治法第112条及び会議規則第14条の規定により提出し決議しました。

新高岡駅への「かがやき」の停車に関する決議

去る8月27日に北陸新幹線長野・金沢間開業に伴う運行計画の概要がJR東日本及びJR西日本から発表され、来年3月14日の開業日と列車の運転本数及び停車駅が示された。

この運行計画では、停車タイプである「はくたか」とシャトルタイプである「つるぎ」については、全て新高岡駅に停車するものの、速達タイプである「かがやき」については、1本も新高岡駅に停車せず、県西部6市、飛騨・能登地域の皆さんにとって受け入れがたい内容となっている。

新高岡駅は、県西部地域をはじめ、飛騨・能登地域における産業振興や観光交流の拡大・各種ビジネスの発展のための玄関口として、大きな役割を果たすことが期待されており、新高岡駅への「かがやき」の停車は、県西部地区のみならず、飛越能地域全体の発展にさらに大きく寄与するものであると確信している。

よって、本市議会は、これまで進めてきた北陸新幹線の開業に向けた取組の効果を最大限に高めるためにも、JRに対し、その公共交通に対する社会的責任を踏まえ、近隣市や経済界とも連携し、官民一体となって新高岡駅への「かがやき」の停車を要望するとともに、国会及び政府に対し、「かがやき」の相当数が新高岡駅に停車されるよう支援を強く求め、議会として、その取組に全力を尽くすことを決意するものである。

以上、決議する。

平成26年9月25日

小矢部市議会

議会議員構成

議 長	いしだ よしひろ 石田 義弘	副 議 長	よしだ やすひろ 吉田 康弘
総務常任委員会委員	委員長 義浦英昭 白井 中	副委員長 加藤幸雄 中西正史	尾山喜次
民生文教常任委員会委員	委員長 藤本雅明 吉田康弘	副委員長 山室秀隆 嶋田幸恵	沼田信良 砂田喜昭
産業建設常任委員会委員	委員長 福島正力 中野留美子	副委員長 中田正樹 石田義弘	宮西佐作
議会運営委員会委員	委員長 中西正史 義浦英昭	副委員長 沼田信良 藤本雅明	福島正力 尾山喜次
駅周辺整備特別委員会委員	委員長 尾山喜次 中野留美子 砂田喜昭	副委員長 藤本雅明 義浦英昭	吉田康弘 福島正力 中西正史
人口対策等特別委員会委員	委員長 沼田信良 山室秀隆	副委員長 白井 中 加藤幸雄	中田正樹 嶋田幸恵 宮西佐作
決算特別委員会委員	委員長 宮西佐作 中野留美子 福島正力	副委員長 中田正樹 山室秀隆 嶋田幸恵	加藤幸雄 尾山喜次 義浦英昭 砂田喜昭
議会だより編集委員会委員	義浦英昭	藤本雅明	福島正力 石田義弘

議会選出委員等

監 査 委 員	沼田信良
小矢部川中流水害予防組合議会議員	白井 中 石田義弘 砂田喜昭
砺波地方衛生施設組合議会議員	吉田康弘 福島正力 中西正史
砺波地方介護保険組合議会議員	吉田康弘 中田正樹 嶋田幸恵 宮西佐作
砺波地域消防組合議会議員	義浦英昭 白井 中 石田義弘 沼田信良
高岡地区広域圏事務組合議会議員	藤本雅明 福島正力 中西正史
民生委員推薦会委員	山室秀隆 吉田康弘
国民健康保険運営協議会委員	中田正樹 中西正史 砂田喜昭
上水道審議会委員	白井 中 福島正力 沼田信良
市勢総合計画審議会委員	義浦英昭 吉田康弘 藤本雅明 福島正力 石田義弘
公害対策審議会委員	中野留美子 加藤幸雄 吉田康弘
都市計画審議会委員	吉田康弘 藤本雅明 嶋田幸恵 沼田信良 尾山喜次
交通安全対策協議会委員	吉田康弘
有線テレビジョン放送番組審議会委員	石田義弘
寿永荘運営委員会委員	義浦英昭 藤本雅明 福島正力
小矢部市土地開発公社理事	義浦英昭 中田正樹 砂田喜昭
公益財団法人クロスランドおやべ理事	白井 中 嶋田幸恵 宮西佐作

平成 26 年 9 月 25 日現在

誠流
福島 正力
議員



◎桜井市長の三選出馬表明を受けて ◎北陸新幹線開業に向けての停車駅と観光等について

◎桜井市長の三選出馬表明を受けて

質問 来年10月、消費税率のさらなる引き上げが控えている。再増税が実施されれば、経済が悪化し、数年間にわたって法人税や所得税が減収になると言われている。税収の減少が予測される中、三期に向けた政治姿勢について、市長の見解を問う。

答弁 社会情勢が大きく変化する中、昨年度、本市が新たに取組む課題、そして独自の地域資源を活かすための施策を取り入れた第6次総合計画後期実施計画を策定した。当面の市政の課題である、都市機能の再構築、アウトレットモール進出を見据えた事業展開、公共施設の長寿命化に向けた対策、人口増加に向けた対策を4つの大きな政策として捉え、後期実施計画に盛り込んだ施策を総合的・計画的に進め、市民の皆さんが小矢部に住んでよかったと実感できるまちづくりを目指して、着実に推進していきたいと考えている。

質問 第二次安倍改造内閣において新設された地方創生担当大臣に望むことは何か。市長の見解を問う。

答弁 私が石破地方創生担当大臣

に望むことは、地方活性化と人口減少問題を解決するため、地方の産業振興や大企業の移転等による雇用の拡大、子育てと仕事を両立できる環境づくり、若年層の生活安定策の構築など、元気で豊かな地方の創生に向けて、若者が希望を持つことができる施策を具体化し、積極果敢に取り組んでいただくことにより、問題解決に向けて大きく前進することを期待するとともに希望している。

◎北陸新幹線開業に向けての停車駅と観光等について

質問 8月27日、JR東日本とJR西日本から北陸新幹線長野・金沢間開業に伴う運行計画等が発表され、速達タイプの「かがやき」は新高岡駅には停車しないということが示された。今後、停車タイプの「はくたか」の停車駅減少と「かがやき」の新高岡駅停車に向けて、市議会としても、呉西各市とともに要望していく考えであるが、市長の見解を問う。

答弁 高岡市では、新駅を岐阜県飛騨・石川県能登両地方を含めた「飛越能の玄関口」としてアピールし、停車の働きかけを行ってきたことから、この報道に大きな

衝撃を受けたものと推察している。本市にとっても新高岡駅は最も身近な新幹線駅であり、首都圏へ移動する際の利便性向上に大きな期待を寄せていることから、今後、市民の利便性の確保や広域観光の推進のため、議会や関係市との連携を図りながら、「かがやき」が新高岡駅に停車するよう関係機関に対して要望していきたい。

質問 新高岡駅に「かがやき」が停車しないことが明らかになった際、市長は、「新高岡駅とアウトレットモールを結びシャトルバスの運行計画があつたが残念だ」とコメントされた。「はくたか」ではシャトルバスを運行しないのか。また金沢駅からシャトルバスを運行する計画はないのか。

答弁 既存のアウトレットモールでも、シャトルバスの運行は集客効果を高めるだけでなく、公共交通の利用促進による渋滞緩和効果が見られている。このことから、これら新幹線停車駅からアウトレットモールへのシャトルバスの定期運行の実現に向けて、三井不動産や路線バス事業者に対して強く働きかけていきたい。

質問 市長は、アウトレットモー

ルの開業には一石数鳥の効果があると発言されている。この効果はより一層高めるためには、アウトレットモール周辺の用途地域の見直しを行い、企業が進出しやすい条件を整備する必要があると考え、市長の見解を問う。

答弁 アウトレットモール周辺での民間活力による土地利用の促進は、にぎわい創出の観点から重要なことであるが、一方で、これまでの農業振興地域としての土地利用とのバランスにも考慮する必要がある。用途地域の見直しに当たっては、現在見直しを行っているマスタープランの構想をもとに検討していきたい。

質問 道の駅「メルヘンおやべ」のリニューアルや駐車場の拡張を行い、アウトレットモールとの相乗効果を図るとともに、入込数の増加を図るべきだと思うが、市長の見解を問う。

答弁 道の駅は国交省の管理区域と市の管理区域に区分されていることから、国交省とも協議を行い、今後の利用動向や利用者の要望を把握しながら、施設の拡充については中長期的な課題として検討していきたい。

◎アウトレットモールについて
◎ふるさと納税について



白井 中 議員

質問 来年から再来年にかけて、富山県では4千人規模の雇用が生まれる見込みである。アウトレットモールでは、地元雇用の2千人を3〜4箇月前から募集し、採用する計画だと聞いているが、短期間で集まるのか心配である。当局の見解を伺う。

答弁 三井不動産や出店事業者は小売業や外食業界の人材不足の現状を十分認識しており、テナントとして出店する企業の従業員募集活動には、万全を期して対応されると思っ

ている。なお、市内においては、ハローワークと連携して、人材確保に協力していきたい。

質問 アウトレットモールで働く大部分の人は、短時間のパート労働者や週末だけのアルバイトになるのではないかと。そうなるとう人手不足が深刻化して時間給が高騰するおそれがある。市内事業所への影響も大きいと思うが見解を伺う。

答弁 雇用環境は改善傾向にあり、アウトレットモールの求人人数が増え、さらに有効求人倍率は上昇するものと予想される。事業所にとって

は時給の高騰などの影響が出ると思うが、求職者にとっては職種の選択肢が広がり、個人収入も増えることになることから、悪い影響ばかりではないと考える。

質問 三大祭りや獅子舞等の伝承芸能を有する地域が希望する場合にはアウトレットモールのイベント広場に出演することができるとのことか。

答弁 イベント広場における各地域の神輿や獅子舞等の出演については、市内の伝承芸能をPRするよい場であるので、三井不動産等と協議し、働きかけていきたい。

質問 ふるさと納税について、小矢部市も寄附金別の返礼特産品の種類の充実を図り、紹介の仕方を早急に検討すべきである。また特産品については、さらに積極的に拡充するとともに、地域活性化を目指して有効に活用していくべきだと考えるが見解を伺う。

答弁 地元特産品のPRや活用を実施している先例もあることから、今後、対応について検討していきたい。そして、この制度趣旨にのっとり、ふるさと納税制度を拡大していきたい。

◎国民健康保険税の引き下げを
◎磁気ループを公共施設に
◎原子力防災対策について



砂田 喜昭 議員

質問 国保税を引き下げしてほしいとの声が多い。東京からUターンで来た人が高いと驚いていた。全国的には税金を法定外繰入して国保税を抑えている。ぜひ繰入して抑えてほしいと思うが見解を伺う。

答弁 決算補てん目的の法定外繰入は全体では3534億円、そのうち約3割の1102億円を東京都が占めている。富山県は約10億円であり、本市は繰入を行っていない。

質問 所得が少ない世帯の国保税を軽減し、その軽減した分は税金で補てんしている。一方、最高限度額を超える世帯の国保税については条例で77万円に抑えている。最高限度額を超えた分の国保税3千3百万円を、なぜ軽減世帯を含むすべての国保加入者に負担させるのか。せめてその分くらいは一般会計から繰入して、国保税を軽減すべきでないか。当局の見解を伺う。

答弁 全国的に見ても法定外繰入の理由は保険料の負担軽減を図るため、あるいは単年度決算補てんのためである。国保会計が黒字であって、最高限度額を超えた世帯の保険税分について法定外繰入を行

っている例はない。

質問 市内の公共施設や会館等に、耳が聞こえにくい高齢者等のためにマイクを通した音だけが聞こえやすくなる「磁気ループ」と呼ばれるシステムの導入を提案したい。

答弁 磁気ループ以外にもいろいろシステムがある。公共施設の改修時期に応じて、他市の状況や各種システムの利点等について調査を続けて研究していきたい。

質問 福井県の大飯原発再稼働差し止めという判決が福井地裁で出された。私自身、大変画期的な判決だと認識しているが、市長はどのように受け止めているか。

答弁 原発の安全性の確保は、最も優先されなければいけないものであり、今回、司法判断で運転差し止めが認められたことについては、一つの判断として受け止めている。

質問 原発事故の緊急事態が発生した場合、いち早く市民に情報を伝達する体制は整っているのか。

答弁 防災行政無線やケーブルテレビ等々の手段を、十分に駆使していきたいと考えている。



嶋田 幸恵 議員

- ◎選挙管理委員会の役割について
- ◎いじめについて
- ◎公共建築物の計画的点検及び修繕計画
- ◎寿永荘改修計画について
- ◎介護保険制度改正に伴う対応について

質問 選挙運動として、公営施設で個人演説会を開催する場合があるが、その際の取扱について、公営施設の管理者に周知徹底がなされていないのではないか。公営施設の管理者に対して、研修を実施しているのか。

答弁 個人演説会を開催できる公営施設として35施設を指定している。選挙の際の取扱は重要なことであることから、施設管理者に対して、周知徹底を図っていききたい。

質問 本市の学校におけるいじめの現状を伺う。いじめを見つけるのは大変であり、先生や教育委員会にも言えない、相談できないということもあると思うが、そのような場合の対応について伺う。

答弁 平成25年度には、小学校で8件、中学校で8件、合わせて16件が報告され、その後の継続した取組により、いじめは解消されている。教育センターに相談窓口を設置し、名前等を名乗らなくても気軽に電話で相談できる体制をとっている。公共施設白書を作成し、市民に周知するとともに、計画的な修繕計画を打ち出し、

財源を付けていくことで市民の安心につながると思う。当局の見解を伺う。

答弁 公共施設をどのように維持管理していくのか、更新や統廃合など様々な手法があるが非常に重要な課題である。白書という形で取りまとめ、これを踏まえて公共施設の総合管理計画にまで進化させていきたいと考えている。

質問 今の寿永荘は、高齢者にとって決して利便性の高い施設とは言えない。利用者の声を聞いて、改修する必要があるのではないか。

答弁 第6次総合計画後期計画の期間中に耐震診断を実施し、県福祉条例に適合しない部分の改修を行うこととしている。その結果を踏まえ、今後の対応を検討したい。

質問 介護保険制度の改正はどのような内容になっているのか。

答弁 主な改正点は、費用負担の公平化と地域包括ケアシステムの構築の2点である。今後、より詳細な内容が示されることになっていくので、必要な情報を随時提供できるように努めていきたい。



中野留美子 議員

- ◎小矢部市の未来像について
- ◎教育行政について

質問 女性の力を生かし、女性が輝く社会づくりに取り組むことが重要である。女性の就労条件を改善することにより、安心して出産・子育てできる環境を作ることが大切である。このような社会を実現するために、市役所が率先して、モデルを作る必要があると思うが、市役所内における女性の人材登用・女性役員の育成について、どのように考えているか。見解を伺う。

答弁 第2次小矢部市男女共同参画プランにおいて、男性と女性、人と人がともにすすめるまちづくりを目指すため、行政における女性管理職の登用率を平成29年度までに26・5%にすることにしている。近年の推移と現況については、平成24年度は25・8%、平成25年度は28・1%、平成26年度には28・6%と年々上昇し、今年度は課長に女性2名を登用したところである。

質問 今回の教科書採択はどのような考えで臨まれるのか。愛国心を育むという観点が必要であると考えるが見解を伺う。

答弁 歴史認識に関する教科書採択については、特定の歴

史認識や歴史史実を確定するという立場で行うものではないこと、通説的な見解として広く受け入れられている学説がない状況においては、児童生徒が誤解するおそれがないことといった観点で判断している。

質問 アウトレットモールのオープンには、本市の発展につながるものと歓迎している。しかし、発展に付随して自動車が増加することで、子ども達が交通事故に遭うのではないかと心配している。対策に一層取り組んでほしいと思うが、当局の見解を伺う。

答弁 庁内組織である東部産業団地整備活用推進委員会の道路環境防犯対策部会で協議を重ねている。また、地元の振興会やPTAが構成員となっていて、東部産業団地事業対策協議会でも会合を重ね、対策等を検討しているところである。警察署や事業者とも連携をとりながら、児童生徒を含めた周辺住民の交通安全対策について現在も協議している。今後とも校長会を通じて、市内全域での交通安全教育をさらに充実していきたい。



中田 正樹 議員

質問 全国学力・学習状況調査について、市内児童生徒の学力向上に生かすため、継続的な把握と分析、検証と改善が大切だと考えるが、現状と対応について伺う。

答弁 この調査については、各学校で現在詳細な分析を行っているところである。今後は、調査結果の詳細な分析に基づき、授業方法の改善、学習習慣の定着など学力向上対策に反映していきたい。

質問 アウトレットパークの開業に伴い、心配されるのは道路の渋滞である。開業時までに道路整備が完了する予定の区間を伺う。

答弁 渋滞時における追突事故防止を目的として国道8号道の駅メルヘンおやべ交差点から小矢部川左岸橋詰めまでの区間の4車線化工事を実施する。また、県道小矢部伏木港線の西中野交差点から子撫川右岸橋詰めまでの区間の改良整備を開業までに完成することになっている。

質問 地方創生本部の役割として、各省庁からの要望を調整し、縦割り行政の弊害をなくすことや地方への単なるバラまきは絶対にさせないこと

等が言われている。地方創生本部に大きな期待をしているところであるが、小矢部市としてどのような対応を考えているのか。

答弁 本市としては、政府の地方創生方針に呼応し、引き続き、定住促進制度や子育て支援施策の充実を図るとともに、産業振興、企業誘致を進め、雇用の拡大を図ることで人口増対策に努めていきたいと考えている。

質問 企業の地方移転の促進に関して、富山県は電気料金が安く、供給の安定性にも優れており、自然災害も少なく、リスク分散の観点からもメリットは大きいと思う。福井県知事は、地方の法人税に税額控除を設け、東京より地方の減税額を大きくするという提案をしているが、この提案は多くの企業が地方移転を検討する有効な施策になると思う。当局の見解を伺う。

答弁 人口減少が進みつつある中、このふるさと企業減税案は、地方に人と企業の移転を促す一案として有効であると考えており、今後の議論の成り行きを見守っていきたい。



山室 秀隆 議員

質問 現在、小矢部市には土砂災害警戒区域は何箇所あり、既存住宅の移転促進を図ることができる土砂災害特別警戒区域は何箇所あるのか。また、これらの区域は、住民の皆さんに認知されているのか。

答弁 市内には土砂災害警戒区域が223箇所指定されており、その中に土砂災害特別警戒区域が138箇所指定されている。これらの区域は、地域住民の皆さんに十分に説明して指定を行っている。

質問 急傾斜地崩壊危険区域が131箇所あるということだが、対策はどのように進んでいるのか。

答弁 急傾斜地崩壊対策事業は、県が事業を進めている。本市では緊急性の高い箇所から、順次、対策工事を実施しており、概ね整備済みとなっている。また、平成25年度からは、事業採択の要件は満たさないが家屋等に危険があるものについて、市の単独事業により、順次、対策工事を進めている。

質問 市が作成した土砂災害ハザードマップに避難所が掲載されているが、一部の避難所は土砂災害警戒区域内にあるように見える。今後、精査検討は行うのか。

答弁 土砂災害警戒区域内に避難所があるケースもある。市の指定避難所は大規模火災や雪害、原子力災害等の災害にも使用しているため、土砂災害警戒区域内の避難所を一律、指定から外すことは予定していないが、そうした避難所、豪雨等による土砂災害の発生が強く懸念される場合には、他の避難所のうち、どこが安全なのかをあらかじめ指定しておくなどの対応を今後検討していきたい。

質問 Uターン就職率が過去最高だと報道された。本市の一般行政職の受験資格は30歳までと設定されているが、この年齢が設定されている理由はあるのか。年齢制限がなければ、県外からのUターンや家族を連れてUターンということにもなると思うが、当局の見解を伺う。

答弁 市としては若い発想力を必要としていること、あるいは40歳くらいの年齢になると、採用後いろいろなポストにつきることが遅くなることから上限を設けている。

- ◎全国学力・学習状況調査について
- ◎アウトレットモール周辺の道路整備状況について
- ◎人口減少と地方創生について

- ◎豪雨災害に伴う土砂災害危険箇所について
- ◎土木公共施設の維持管理計画について
- ◎職員の定期的採用について

◎公共施設更新問題について



藤本 雅明 議員

質問 本市の公共施設が老朽化してきている。近い将来、公共施設を更新する時期が確実に訪れる。本市の公共施設のうち、建築後30年、40年、50年経過したものはそれぞれいくつあるのか。

答弁 竣工後30年経過したものが33施設、そのうち40年を経過したものが14施設、さらにそのうち50年を経過したものが2施設ある。

質問 今年6月、クロスランドタワーの防火水槽の一部が老朽化破損し、水浸しになる事故が起きた。市長は、記者会見で、法定外であっても点検を行うなど管理体制を見直すと言ったがどうされたのか。

答弁 法定点検項目に無くても、職員が点検すべきところを確認して、必要な項目をチェックリストに追加するなど、各施設での対応を図っているところである。

質問 昨年11月、市公共施設あり方検討会から、今後40年間で老朽化した施設に係る概算更新費用が約590億円に上るとの試算が行われた。このことを受け、市は更新費用をどのように確保し、この問題にどう取り組むのか。見解を伺う。

答弁 建築後30年で大規模改修・60年で建て替えという仮定のもとに試算された結果が約590億円ということである。実際には、建物の状況や施設の利用状況などを的確に把握して、計画的に対応していきたい。

質問 今年4月、総務省から公共施設等の総合管理計画の策定要請があったと思うが、今後、市はどう取り組むのか。当局の見解を伺う。

答弁 全ての建物の公共施設白書を今年度中に作成するとともに、これらを踏まえて、平成27～28年度の2年度にわたって、総務省から要請のあった公共施設等総合管理計画を策定していきたい。

質問 市役所庁舎の耐震工事が行われていない。今後の予定を伺う。

答弁 庁舎は既に第1次の耐震診断を終えており、「対策を要する」との判断がなされている。今年度は庁舎の躯体自体の強さが残っているか診断することにしており、その診断結果を踏まえて、状況に応じた対策を見極めていきたい。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話、口頭による申し込みはできません。



小矢部市議場

録画映像インターネット配信

より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、小矢部市議会のホームページで本会議の録画映像を配信しています。

録画映像は、本会議開催日のおおむね1週間後から配信しています。小矢部市議会のホームページの「議会中継」をクリックして、ご覧ください。(議会開催年や発言者を選択してご覧いただけます。)



小矢部市議会 議会中継ページ

<http://www.gikai-web.com/dvl-oyabe/2.html>

会務報告

平成 26 年 6 月 21 日から 9 月 9 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
26. 6. 24	小矢部市・津幡町合同提言活動	・富山河川国道事務所 ・一般国道 8 号「俱利伽羅トンネル」整備促進について	富山市
6. 25	平成 27 年度重点事業要望	・富山県出先機関	高岡市、小矢部市
6. 27	高岡地区広域圏事務組合議会議員協議会	・能越自動車道の国による一元管理についての要望について	高岡市
6. 30	平成 27 年度重点事業要望	・富山県庁	富山市
	市議会議員研修会・交流会	・講演	富山市
7. 1	小矢部市・津幡町合同提言活動	・北陸地方整備局 ・一般国道 8 号「俱利伽羅トンネル」整備促進について	新潟市
	富山県日韓友好議員連盟総会	・議事 平成25年度事業実績及び収支決算等について ・講演	富山市
7. 2	小矢部市・津幡町合同提言活動	・国土交通省及び富山・石川県選出国会議員 ・一般国道 8 号「俱利伽羅トンネル」整備促進について	東京都
7. 3	平成 27 年度重点事業要望	・富山河川国道事務所 ・北陸農政局	富山市 金沢市
7. 7	庄川左岸地区用排水対策促進協議会総会	・議事 平成25年度事業報告、収支決算、積立金特別会計収支決算、平成26年度事業計画(案)、収支予算(案)、積立金特別会計収支予算(案)について ・報告事項 国営総合農地防災事業の執行状況及び平成26年度執行予定について等	砺波市
7. 8	平成 27 年度重点事業要望	・北陸地方整備局	新潟市
7. 9~10	平成 27 年度重点事業要望	・国土交通省、農林水産省、文部科学省、消防庁及び県選出国会議員	東京都
7. 11	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、役員選任(案)について ・報告事項 主要地方道砺波小矢部線の整備状況について	津沢コミュニティプラザ
7. 16	国道 471 号整備促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について ・報告事項 国道471号の整備状況について	富山市八尾町
7. 17	砺波地域消防組合議会運営委員会	・8月定例会提出議案について	砺波市
	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、一般会計歳入歳出決算、積立金特別会計歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、一般会計歳入歳出予算(案)、積立金特別会計歳入歳出予算(案)、役員改選(案)について	高岡市
7. 23	議会だより編集委員会	・議会だよりNO.174について	第二委員会室
8. 6	利賀ダム建設促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、役員選任について ・報告事項 利賀ダムの整備状況について	砺波市
8. 7	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・議事 平成26年度一般会計補正予算(第1号)及び平成25年度一般会計歳入歳出決算について等	高岡市
	国道 359 号改修促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について ・報告事項 国道359号の整備状況について	砺波市
8. 8	砺波地域消防組合議会定例会・研修会	・議事 一般会計補正予算(第2号)、火災予防条例の一部改正、財産の取得について等	砺波市
		・研修 富山県防災航空センター	富山市
8. 11	庄川・小矢部川改修促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について ・報告事項 庄川・小矢部川の整備状況について	高岡市
	岸渡川改修促進期成同盟会総会	・議事 平成25年度事業報告、歳入歳出決算、平成26年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について ・報告事項 岸渡川(黒石川)の整備状況について	高岡市
8. 12	富山県市議会議長会臨時総会	・議事 平成25年度歳入歳出決算、北信越市議会議長会評議員会提出議案等 ・小矢部市提出議案 能越自動車道の一元管理について	氷見市
	県知事との懇談会	・県政概要説明 ・要望事項要旨説明及び要望事項に対する説明 ・小矢部市要望事項 一般国道 8 号の交通安全対策事業の促進について(芹川～桜町間)	
	砺波地方介護保険組合議会運営委員会	・8月定例会提出議案について	砺波市
8. 21	組織議会世話人会	・議員懇談会及び臨時会(組織議会)について等	議長室

■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
26. 8. 28	砺波地方介護保険組合議会定例会	・議事 平成26年度特別会計補正予算(第1号)、平成25年度一般会計決算及び特別会計決算、平成25年度養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計決算について等	砺波市
8. 29	高岡地区広域圏事務組合議会議員視察	・高岡広域エコ・クリーンセンター	氷見市
9. 2	議員懇談会	・臨時会(組織議会)運営、特別委員会の設置、会派届及び議会人事選出方法等について	第二委員会室
9. 4	臨時会本会議	・議長、副議長の選挙について ・常任委員の選任について ・議会運営委員の選任について ・一部事務組合議会議員の選挙について ・監査委員の選任同意について等	議場
9. 5	協力要請(高岡市議会)	・新高岡駅への「かがやき」停車について	議長室
9. 5 9. 8~9	正副議長あいさつ回り	・富山県、県出先機関、富山河川国道事務所、県内各市、金沢市、津幡町、報道機関等	富山・石川県内
9. 8	議会運営委員会	・平成26年9月定例会提出議案について等	第二委員会室

■ 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。
平成26年8月以降、次の議会が本市を訪れました。

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
26. 8. 19	香川県善通寺市議会 (建設経済常任委員会)	4	1	・農業特産物推進の取組について ・おやべCMについて ・おやべの縁結びさんについて
8. 21	兵庫県赤穂市議会 (会派)	4	-	・協働のまちづくり会議について ・おやべ型1%まちづくり事業について ・NPO及びボランティアとの協働について
8. 26	岐阜県郡上市議会 (文教民生常任委員会)	7	1	・「認知症安心ネット」による地域支援体制について
10. 2	北海道江別市議会 (会派)	6	-	・認知症安心ネット「小矢部市認知症地域支援体制構築等推進事業」について
10. 23	神奈川県寒川町議会 (会派)	6	-	・総合保健福祉センターについて
10. 23	熊本県大津町議会 (文教厚生常任委員会)	5	1	・認知症地域支援事業について ・認知症安心ネットについて ・特色ある高齢者支援等の取組について

12月定例会の日程(予定)

9日(火) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

10日(水) 議案調査日

11日(木) 議案調査日

12日(金) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

15日(月) 10時 本会議(一般質問)

16日(火) 10時 駅周辺整備特別委員会

14時 民生文教常任委員会

17日(水) 10時 人口対策等特別委員会

14時 産業建設常任委員会

18日(木) 10時 総務常任委員会

19日(金) 14時 委員長会議

22日(月) 10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※オレンジ色の文字はケーブルテレビ放送予定、録画映像インターネット配信予定です。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会
の議案審査の過程において、市当局に
対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、「小矢部市空き家等の適
正管理、活用等に関する条例」を新た
に制定するに当たって、空き家対策に
ついての情報収集をしっかりと行い、
運用にあたっては、市のガイドライン
を作成した上で、慎重に進めること。

また、空き家対策を行う体制につい
ては、市役所内での「位置付け」を
明確にし、市民に分かりやすい対応に
努めるとともに、市内の空き家数及び
現状を、「共通データ」として把握し、
緊急対応すべき空き家については、全
力でその対策にとりかかること。

二点目は、防災について、広島県内
において、記録的豪雨による土砂災害
が発生したが、市内においても予想を
超える豪雨発生時に備えて、日頃から
いろいろな広報手段を通じて、豪雨等
による危険箇所・避難場所について、
各地区防災会を通じて、市民へ周知す
ること。

特に、夜間災害発生時、安全に避難

誘導できるように、各地区の避難体制
についても検証し、住民に周知徹底す
ること。

民生文教常任委員会

一点目は、子ども・子育て支援制度
が平成27年4月に施行されることに伴
い、新制度による各施設の認定基準や
運営基準を定めた条例がこの定例会に
上程されている。小矢部市においては、
現状の保育サービス等の水準を後退さ
せないように努めること、さらに、放
課後児童クラブについては、今まで以
上に学童保育の質の向上を図ること。

二点目は、来年開館予定のアートハ
ウスおやべにおいて、今後の小矢部
市民の美術活動の拠点となることから
専門的知識を有する職員を配置し、多
くの人々に利用される施設となるよう
事業運営の充実に取り組むこと。

産業建設常任委員会

一点目は、東部産業団地周辺の道路
整備について、(仮称)三井アウトレッ
トパーク北陸小矢部の開業まで、残さ
れている時間は限られているが、交通
渋滞を緩和する観点から、可能な限り
道路整備を進めること。

また、来訪者の自動車が生活道路や
通学路に進入することを防止する標識
の設置や必要な歩道の整備について
引き続き、検討すること。

二点目は、道路の維持補修について、
道路の白線等が見えにくく、危険性が
高まっている箇所については、交通安
全の観点から、早急に補修すること。

三点目は、有害鳥獣被害対策につい
て、イノシシは木の根元を掘り起す
習性があることから、中山間地域では、
農作物の被害だけでなく、農地法面や
農道や林道の土手が削られるなどの被
害も多くなっている。農地災害や土砂
災害を防ぐ観点から、情報収集に努め
るとともに、引き続き、有効な有害鳥
獣被害対策を講ずること。

平成26年度 議長交際費支出状況

平成26年4月～平成26年9月 (単位:円)

区 分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	11	141,400
① 御祝・寸志	1	20,000
② 激励金	6	46,000
③ 香典・供物	4	75,400
2 協賛費	11	50,222
3 会費・懇談会費	7	46,000
4 その他	13	73,502
合計	42	311,124
平成26年度予算額		1,400,000
執行率		22.22%

※小矢部市ホームページからもご覧になれます。

編集後記

任期満了に伴い、この9月議会
から新しい議員構成による小矢部
市議会がスタートしました。変革の
時代である今を見据え、国や県の
動向をしっかりと注視し、より良い
小矢部市づくりに努めていきたいと
思っております。

また、11月29日には、議会報告
会を開催する予定にしております。
市民の声をより一層市政に反映し
たいと思っておりますので、市民の皆
さんのご参加を心からお待ちして
おります。

9月4日の臨時会において、議会
だより編集委員会の構成が新しく
なりました。わかりやすく見やす
い紙面づくりに努め、議会の状況を
市民の皆さんにお伝えしていきたい
と思っております。

今後とも市民の皆さんのご支援
とご協力をよろしく申し上げます。
今回の「議会だより」は、平成
27年2月の予定です。

(議会だより編集委員一同)